

EUREKA	若い超新星残骸における粒子加速過程の進化	辻 直美	622
	複雑で整然とした磁場構造： 大質量星団を生みつづける最重量級ハブ・フィラメント	Doris Arzoumanian・古屋 玲	631
	ペルセウス座分子雲に見るマルチスケールな星間磁場構造	土井靖生	643
シリーズ：天文学者たちの昭和	小平桂一氏ロングインタビュー 第12回：学術・教育への期待	高橋慶太郎	652
雑報	地域連携による石垣島天文台の運用	花山秀和	667
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書	紅山 仁	674
月報だより			676

【表紙画像説明】

JCMTの大規模観測プログラム BISTRO（ビストロ）により観測された、星形成領域 NGC 6334（左図）及び NGC 1333（右図）の内部の磁場構造（青線）。線分の方向が磁力線の向きを示し、線分の長さはサブミリ波の偏波率を表す。背景は Herschel 衛星による赤外線観測画像で、星形成活動により温められた星間物質分布を示す。フィラメント状に細長く伸びた星間物質に突き刺さるかの様に分布する、複雑な磁場構造が明らかとなった。

【今月の表紙デザイン】

「甘美な香り、淡い月」

秋風によってほんのりと甘い金木犀の香りが鼻をくすぐる。ふと上を見上げると、淡い夕空にぼかんと浮かぶ月が見えた。“秋の訪れ”をイメージして描きました。